

公式通知 No.3-1/4

KV-40 宛

競技手順について

■ 1stアタック

- ①スタート前の整列に向けて、各ピット内で車両整備を行う。
- ②走行スタート順は、整列順となる。**指定のピット裏動作チェックエリアに移動し、トラブルなく車両が動くことを確認する。その後、準備の完了したチームより出走に向け整列する。**
順次コントロールタワー前のスタート位置からオフィシャルの合図(日章旗)により、国際レーシングコース フルコース1周のアタックを開始する。
- ③各チーム約15秒～20秒間隔(状況により変動あり)でアタックを開始する。
1stアタック最終スタート時刻**10時30分**に間に合うよう車両を準備し、スタート位置に整列する。
- ④フルコースを周回した後ホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でオフィシャルによりチェッカーを受けた時点で完走となる。コントロールライン通過後は、早めにブレーキをかけること。
その後、リーダータワー横よりオフィシャルの誘導に従ってピットレーンをスタート位置方面へ逆走し、**PIT49～51前付近にて駆動用電源・サーキットブレーカを取り外し、PIT52へ預ける。**
なお、駆動用電源・サーキットブレーカは自ピットへ持ち帰ることはできない。
- ⑤競技中、車両を完全に停止したうえで、充電側ブレーカの復帰作業を行うことができる。その際、電池の温度や固定の状態を確認しながら作業すること。また、安全であることを確認した上でブレーカのカバーを操作すること。
- ⑥コース上でSTOPした車両に対し、コースオフィシャルが走行距離認定を行う。走行距離認定を受けたドライバーは、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。1stアタックにおいて走行距離認定を受けたチームは未完走とみなされ、それ以降のアタックについては、嘆願書提出を条件に出走することが認められるが、**順位賞典対象外となる。**
- ⑦1stアタックの競技時間は**65分間**。最終スタート時刻10時30分から30分後の**11時00分**に競技終了となり、**各監視ポストにて赤旗+赤ライトパネルが表示される。**この時点で完走できなかったチームは、ただちにその場に車両を停車させ、走行距離認定を受けなければならない。
- ⑧1stアタック完走チームは、駆動用電源・サーキットブレーカの保管を行うため、1stアタック終了後、速やかに駆動用電源・サーキットブレーカを**PIT51,52**へ持ち込まなければならない。
- ⑨1stアタックで完走できなかったチームは、1st アタック終了後**30分以内**に大会事務局(ピットビル2階)へ2nd アタック出走嘆願書を提出することにより、2nd アタックへの出走が認められる。その場合、駆動用電源・サーキットブレーカ保管は除外され、充電が認められるが、それ以降**順位賞典対象外の参加となる。**

公式通知 No.3-2/4

■ 2ndアタック

- ① 1stアタック終了後に預けた駆動用電源とサーキットブレーカの返却及びスタート前チェックを行う。
場所：PIT51,52 返却・スタート前チェック時間：**12時15分～13時05分**
- ② **1stアタックの成績上位チームから順に出走**となる。1stアタックの結果表をよく確認した上で、順次コントロールタワー前のスタート位置から1stアタックと同様の合図により、国際レーシングコースフルコース1周のアタックを開始する。
なお、2ndアタック出走嘆願書提出チームは、1stアタック成績最下位チームが出走した後、整列順にコースインが可能となる。
- ③ 各チーム約15秒～20秒間隔(状況により変動あり)でアタックを開始する。車両トラブル等の止むを得ない理由により、自チームの出走順に間に合わない場合は、最後尾(出走嘆願書提出チーム同様)のスタートとなる。2ndアタック最終スタート時刻の**13時10分までに**間に合うよう車両を準備し、スタート位置に整列する。
- ④ フルコースを周回した後ホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でオフィシャルによりチェッカーを受けた時点で完走となる。コントロールライン通過後は早めにブレーキをかけること。その後、リーダータワー横よりオフィシャルの誘導に従ってピットレーンをスタート位置方面へ逆走し、**PIT49～51前付近にて駆動用電源・サーキットブレーカを取り外し、PIT52へ預ける。**
なお、駆動用電源・サーキットブレーカは自ピットへ持ち帰ることはできない。
- ⑤ 競技中、車両を完全に停止したうえで、充電側ブレーカの復帰作業を行うことができる。その際、電池の温度や固定の状態を確認しながら作業すること。また、安全であることを確認した上でブレーカのカバーを操作すること。
- ⑥ コース上でSTOPした車両に対し、コースオフィシャルが走行距離認定を行う。走行距離認定を受けたドライバーは、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。2ndアタックにおいて走行距離認定を受けたチームは未完走とみなされ、3rdアタックの出走は**順位賞典対象外**となる。
- ⑦ 2ndアタックの競技時間は**65分間**。最終スタート時刻**13時10分**から**30分後の13時40分**に競技終了となり、**各監視ポストにて赤旗+赤ライトパネルが表示される**。この時点で完走できなかったチームは、ただちにその場に車両を停車させ、走行距離認定を受けなければならない。
- ⑧ 2ndアタック完走チームは、駆動用電源・サーキットブレーカの保管を行うため、終了後速やかに駆動用電源・サーキットブレーカを**PIT51,52**へ持ち込まなければならない。
- ⑨ 2ndアタック未完走チームは、2ndアタック終了後**30分以内**に大会事務局(ピットビル2階)へ3rdアタック出走嘆願書を提出することにより、3rdアタックへの出走が認められる。ただし、その場合、駆動用電源・サーキットブレーカ保管は除外され、充電が認められるが、それ以降**順位賞典外対象外の参加**となる。



■ 3rdアタック

- ① 2ndアタック終了後に預けた駆動用電源とサーキットブレーカの返却及びスタート前チェックを行う。
場所：PIT51,52 返却・スタート前チェック時間：**15時00分～15時45分**
- ② **2ndアタックの成績上位チームから順に出走**となる。2nd アタックの結果表をよく確認した上で、順次コントロールタワー前のスタート位置から、これまでと同様の合図で国際レーシングコース フルコース 1周のアタックを開始する。
なお、3rd アタック出走嘆願書提出チームは、2nd アタック成績最下位チームが出走した後、整列順にてコースインが可能となる。
- ③ 各チーム約15秒～20秒間隔(状況により変動あり)でアタックを開始する。車両トラブル等の止むを得ない理由により、自チームの出走順に間に合わない場合は、最後尾(出走嘆願書提出チーム同様)のスタートとなる。3rd アタック最終スタート時刻の**15時50分までに**間に合うよう車両を準備し、スタート位置に整列する。
- ④ フルコースを周回した後ホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でオフィシャルによりチェッカーを受け、完走となる。コントロールライン通過後は早めにブレーキをかけること。
- ⑤ **3rd アタックの完走チームは、再車検の対象となる。オフィシャルの誘導に従い、再車検・車両保管会場となるPIT1～4に車両を預けること。**
- ⑥ 競技中に充電側ブレーカの復帰作業を行うことができる。その際、電池の温度や固定の状態を確認しながら作業すること。また、安全であることを確認した上でブレーカのカバーを操作すること。
- ⑦ コース上でSTOPした車両に対し、コースオフィシャルが走行距離認定を行う。走行距離認定を受けたドライバーは、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。3rd アタックにおいて、走行距離認定を受けたチームは未完走とみなされる。
- ⑧ 3rd アタックの競技時間は**55分間**。最終スタート時刻**15時50分から25分後の16時15分**に競技終了となり、各監視ポストにて赤旗+赤ライトパネルが表示される。この時点でコントロールライン(タイム計測ライン)を通過していないチームは、ただちにその場に車両を停車させ、走行距離認定を受けなければならない。
- ⑨ 競技結果の集計を行った後、暫定結果表が発表される。**最終チェッカー車両の車両検査終了後、車両保管が解除**となる。車両保管場所より車両を引き取ることができる。



【KV-40】競技フロー 俯瞰図

公式通知 No.3-4/4

